

1 東京2020大会気運醸成 「オール世田谷」でのおもてなし

公明党世田谷区議団は、東京2020大会の気運醸成と区民の皆様と一緒に「おもてなし」の心を創出する取り組みを推進!

いよいよ年が明け、待ちに待った東京オリンピック・パラリンピック大会が始まります!

これからの予定

- 2020年5月のゴールデンウィーク:「おもてなしパレードを下北沢駅周辺から三軒茶屋駅周辺の茶沢通りで開催。
- 2020年6月～7月:「世田谷の灯リレー」子どもたちを中心に世田谷公園の「平和の灯」を全区でリレー。
- 2020年7月10日(金):オリンピック聖火リレー開催(区内ルート) 駒沢オリンピック公園中央広場→ボロ市通り→けやき広場(馬事公苑前) <https://tokyo2020.org/jp/special/torch/olympic/map/>
- 東京2020大会期間中:コミュニティライブサイト周辺でのおもてなし事業である「応援イベント」などを開催。



馬ふれあい出張授業(平成30年6月)

※おもてなし事業に関するお問い合わせは、世田谷おもてなし・交流・参加実行委員会事務局(公財)世田谷区産業振興公社(03-3411-6715)までお願いします。

2 アメリカの選手団が キャンプに訪れます



公明党世田谷区議団は、世田谷区の子も達がアメリカのオリンピック・パラリンピアンメダリストから直接学ぶ機会の創出を推進! 東京2020大会期間中、アメリカ合衆国の選手が世田谷区の施設を利用します。

キャンプ期間

2020年7月4日～8月27日

使用予定施設

大蔵運動場、大蔵第二運動場

キャンプ誘致の目的

- ① 世田谷の子どもたちに夢や希望を
- ② 国際理解・障害理解の促進
- ③ 地域の活性化
- ④ 世田谷の魅力発信



オリンピック・コーチ等によるクリニック(左:平成30年11月/右:平成30年9月)



小児医療施設への選手訪問(平成31年3月)

3 世田谷区は アメリカ合衆国のホストタウンです

公明党世田谷区議団は、東京2020大会を契機に国際・観光交流を推進! 世田谷区は平成28年6月にアメリカ合衆国のホストタウンに登録されました。

※ホストタウンとは、区民と東京2020大会に参加する選手や参加国の関係者、日本人のオリンピック・パラリンピアンとの交流を推進し、スポーツの振興、教育文化の向上及び共生社会の実現を図る地方自治体のことです。



金メダリストとの水泳教室(平成30年8月)



ベースボールクリニック(平成30年11月)

公明党世田谷区議団は、これまで障害者の方々がスポーツを楽しめる施設や環境の整備を推進! そうした中、世田谷区は平成29年12月に都内で初めて**共生社会ホストタウン**に登録され以下の3つの目的を柱として取り組んでいます。

- ① ユニバーサルデザインのまちづくり(バリアフリーの推進など)
- ② 障害者スポーツの推進(ポッチャ世田谷カップなど)
- ③ 心のバリアフリー(アメリカのパラリンピアンとの交流や障害理解教育の実施など)



大蔵運動場陸上競技場スタンド改築(令和元年12月)



ポッチャ世田谷カップ(令和元年8月)

ホストタウン
共生社会ホストタウン
共通ロゴ



※ホストタウン・共生社会ホストタウン共通ロゴはちらしなどに掲載することができます。詳しくは、世田谷区交流推進担当課(03-5432-2952)にお問い合わせください。